

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
作業療法概論		必修	2	1	前期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
小沢 健一 他	C305	k-rozawa		金曜日 14:40~16:20		
授業の目的・概要	作業療法を学んで行く上での基本的な枠組みを理解し、これからの学習に向けて展望を持つことができるようになることを目的とする。授業は講義に加えて ICF を用いた評価プロセスの体験、作業療法の実際を聴講できる機会を織り交ぜて展開する。また講義終了後は、確認テストを行い知識の定着をはかる。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> その他 (講義中に随時質疑応答し進める)	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> アレクサンダーソン <input type="checkbox"/> デイスクッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク		
学習上の助言	作業療法の奥深さに興味を持ち、今後学んでいく他の講義が作業療法の学習につながるようになってほしい。					
教科書	標準作業療法学 専門分野「作業療法学概論」第4版：能登真一 編，医学書院 2021 ICF 国際機能分類 一国際機能分類改訂版 一 編：障害者福祉研究会 中央法規出版 2008 「2 冊指定」					
参考書	特になし					
外部教材	日本作業療法士協会ビデオ資料、日本作業療法士協会作業療法ガイドライン					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針			
①	作業療法を平易な言葉で説明できる。		OT (2)			
②	作業療法にとっての「作業」の意味を説明できる。		OT (2)			
③	作業療法の基本的な考え方と過程を説明できる。		OT (2)			
④	作業療法の歴史的経過を説明できる。		OT (2)			
⑤	今後の学習の見通しをもつ。		OT (1) (2)			
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	作業とは何かを理解する。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
2	生活モデルに基づく作業療法の概略を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
3	作業療法の領域を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
4	作業療法の理論を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
5	作業療法の教育体系を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
6	医療倫理を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
7	多職種連携を学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
8	EBM と作業療法について学ぶ。	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
9	作業療法の実践課程－ICF の基礎を学ぶ。	講義・演習	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
10	作業療法の実践課程－ICF の活用方法を学ぶ。	講義・演習	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
11	身体障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：小沢]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
12	精神障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：幸]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
13	老年期障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：榎田]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
14	発達障害に対する作業療法の概略を学ぶ。 [担当：渡辺]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
15	地域における作業療法の概略を学ぶ。 [担当：浅野]	講義	事前学習として教科書の該当箇所を読む。事後学習は教科書、資料等を深める。	4		
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照					

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		90	0	0	0	10	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	70	0	0	0	10	80	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント						フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①	✓	学期末の定期試験(筆記試験)を実施して評価する。(90%) 試験は、授業で学んだ教科書、資料等に基づく問題を出題し、理解度を問う。問題(回答)形式は、記述・穴埋め・選択式である。				試験は各自に返却し、解説する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	授業終了後の確認テストは、評価対象とする。(10%)				テストを終了後、課題返却により解説していく。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	榎田哲弥、幸信歩、浅野克俊、渡辺俊太郎							
教員の実務経験	担当教員は作業療法士として10年以上の臨床経験がある。							
実践的授業の内容	臨床における最新情報とともに、その専門性を生かして学生に教授する。							
そ の 他	授業時には課題ダウンロードや動画視聴などがあるので、通信容量制限がある場合には通信量に十分注意すること。 講義終了後、Microsoft forms を使用し確認テストを行う。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によりシラバスの変更がありうる。							